

各位

日本リスク・データ・バンク株式会社

株式会社きらぼし銀行様との基本合意書締結について

ForeVision 株式会社（代表取締役社長：大久保 豊、以下「FV」）のグループ会社である、日本リスク・データ・バンク株式会社（代表取締役社長：長尾 誠、以下「RDB」）は、株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループ（代表取締役社長 渡邊 壽信、以下、「東京きらぼしFG」）の子会社である、株式会社きらぼし銀行（頭取 渡邊 壽信、以下「きらぼし銀行」）と、AIサポートによる高水準コンサルティング営業の具体的実現に向けた、基本合意書の締結をお知らせいたします。本基本合意に基づき、お取引先企業の事業成長に資するデータ利活用やAIの活用に関する分析・開発について、今後3年間に亘り協議してまいります。

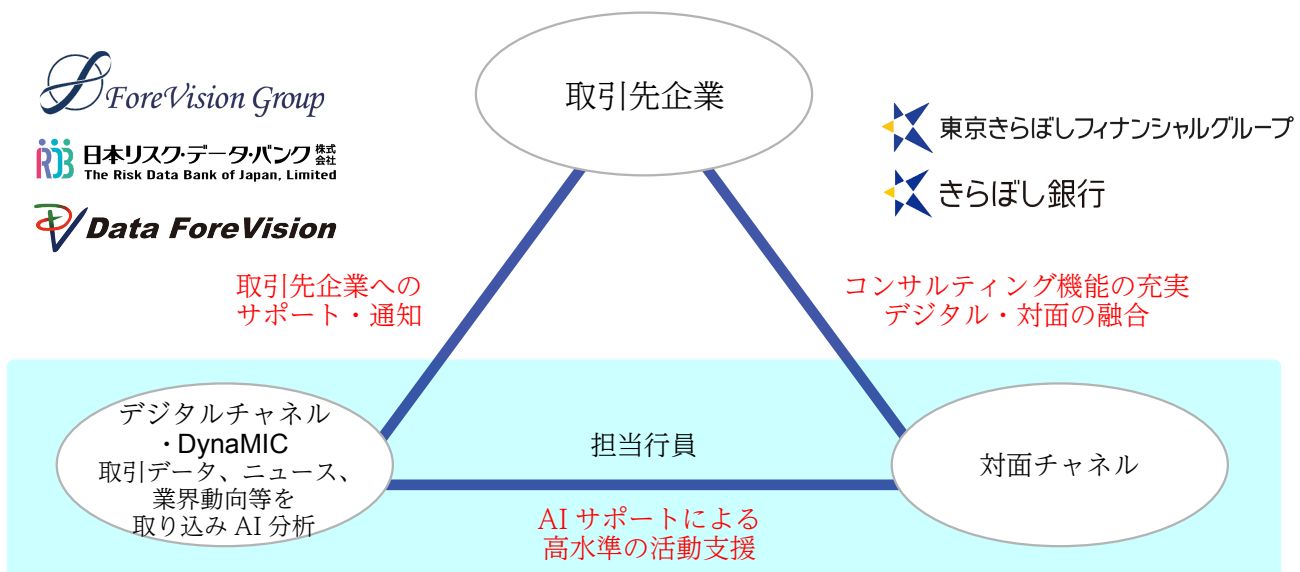
記

■基本合意書締結の目的

きらぼし銀行様におかれましては、RDB独自の「口座の取引データを取り込んで分析できるシステム：RDB-DynaMIC（以下、「DynaMIC」）」をクラウド上（AWS）でリリースいたしております。また今後更に拡張性の高いデータ基盤を構築し、取引先企業との接点となるデジタルチャンネル：DynaMIC-SMARTについて現在導入作業中でございます。

同システムの運用により蓄積される多様なデータの利活用を検討する中で、今般、本基本合意書を締結し、お取引先企業の事業成長に資するデータ利活用やAIの活用に関する分析・開発について協議検討していきます。きらぼし銀行様のデータ基盤に蓄積される多種多様なデータAIで最適化・活用するなどDXを実現していくことで、デジタル・対面チャンネルの両方を通して、きらぼし銀行様の法人のお客さまの課題解決や企業価値の向上に努めるとともに、地域経済・地域社会の持続的発展に貢献してまいります。

【AIサポートによる高水準コンサルティング営業のイメージ】



(協議事項)

データレイク・AI活用に関する共同研究、データ利活用・最適化
お取引先様の事業成長に資する機能やアプリケーションの開発

東京きらぼし FG 様におかれましては、中期経営計画の重要施策の一つに位置づけられている DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進を実現すべく、お取引先企業の価値向上に貢献するための課題解決力の向上に向け、積極的に取り組んでいらっしゃいます。

RDB 及び FV グループは、社会金融宮大工として《AI Computing》《CLOUD Computing》《DATA LAKE Computing》を活用し、地域金融機関様とそのお取引先企業様のご成長と業績発展に貢献出来る様サービスの更なる高度化を目指しております。

きらぼし銀行様との 20 年以上に亘る長いお取引による信頼関係と、これから両社が目指す姿が一致していることから、本件基本合意締結の運びとなりました。今後の両社に是非ご期待下さい。
以上

<本件に関するお問い合わせ先>
日本リスク・データ・バンク株式会社 杉山・北本
Tel : 03-6226-6671
E-mail : sdm@riskdatabank.co.jp